

日本ヒューマンケア科学会誌論文の種類と基準

1. 「原著論文」とは、以下の基準を満たすものである。

基準項目	学術論文として基本的な形態を整えていること。
表題	内容を適切に表現している。
研究背景	研究動機・意義が明確である。 オリジナリティー・独創性がある。 外国文献も検索しこの研究の結果が新しい知見であることを確認している。
目的	この研究によって何を得ようとするのか、または何を明らかにするのか等、目的が明確にされている。
倫理的配慮	研究倫理審査委員会の承認を得ている。また、研究協力者の権利が明記され、強制力が働いていないこと、安全・安楽の保障、プライバシーの保護がなされていることが論文から読み取ることができる。
方法	調査対象が目的にマッチしている。 研究方法はこの研究目的、目標達成のため妥当である。 情報収集・方法の手続きが示されている。 測定基準、測定用具が示されている。 情報処理(分析)方法が適切である。
結果	目的にそった分析・結果の導出がされている。 客観的データが示されている。
考察	目的と考察に一貫性がある。 結果を文献・他のデータと照合し客観的に検討されている。 仮説があるときは、その仮説が検証されている。
結論	考察で追求したポイントを簡潔にまとめている。 新しい知見を明示している。 臨床実践で役立つ示唆が与えられている。 信頼性・妥当性が確保されている。
その他	論文の構成がしっかりしている。 文献や図表も明記されている。 正確な日本語を用いている。

2. 「研究報告」とは、上記の審査基準が十分に満たされていないが、学術的に価値のあるものである。

3. 「総説」とは、ヒューマンケアに関わる特定のテーマについて文献考察を行い、当該テーマについて総合的に現状と展望を明らかに概説し考察したものである。

4. 「事例報告・実践報告」とは、ケースレポート、フィールドレポートなどである。

5. 「資料」とは、原著論文・研究報告にはいたらないが、ヒューマンケアに貢献するデータを有する論文である。

6. 「その他」とは、会員のコメント・近況報告などである。